

議会だより

No.211

2019.2.1

発行 茨城町議会
編集 議会広報委員会

茨城町ホームページ <http://www.town.ibaraki.lg.jp/>



学校紹介シリーズ
認定こども園
茨城町立長岡幼稚園
ドキドキしたね！生活発表会



12月定例会開催

主な 内容

12月定例会のあらまし……………	2
一般質問……………	4
お知らせ……………	8



平成30年
第4回定例会
12/6~12/14

すべての公立学校施設が 空調設備完備に

幼稚園の空調設備に係る補正予算など11議案を可決

平成30年第4回定例会は、12月6日から14日までの9日間の会期で開かれました。

開会初日には、町長より、条例の一部改正や平成30年度一般会計補正予算など、11議案について提案理由の説明がありました。

10日には、一般質問が行われ、4人の議員が執行部の考えを質し、その後、議案11件、陳情1件をそれぞれ所管の常任委員会に付託しました。

14日の最終日には、各常任委員会委員長より、付託された案件の審査結果の報告があり、採決の結果、全議案を原案のとおり可決、陳情1件を継続審査としました。また、継続審査としていた陳情1件を継続審査とし、全日程を終了しました。

可決された議案

茨城町一般職の任期付職員採用に関する条例の一部を改正する条例について

・人事院勧告(※)に準じて任期付職員の給料月額を平均0・2%引き上げるなどの改正。

【全員賛成】

茨城町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について

・人事院勧告に準じて町長、副町長及び教育長の期末手当の支給割合を0・05月引き上げる改正。

【全員賛成】

茨城町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

・人事院勧告に準じて一般職員の給料月額を平均0・2%引き上げるなどの改正。

【全員賛成】

町道路線の廃止について

・国営緊急農地再編整備事業に伴い、下石崎地内の町道1382号線を廃止。

【全員賛成】

※人事院勧告とは：
公務員の給与・勤務条件などが、社会一般の情勢に適應するように、国会および内閣に対して人事院が行う報告と勧告を言います。





請願・陳情の審査結果

継続審査となったもの

「医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める意見書」を国に提出することを求める陳情書

水戸市城南3-9-20

茨城県医療労働組合連合会

執行委員長 松崎 みどり

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める陳情

水戸市笠原町978-46

茨城教育会館2階

茨城県教職員組合

代表 杉山 繁 外82名

審議未了となったもの

主要農作物種子法の復活等をもとめる請願

茨城町上飯沼626

茨城中央農民組合

浅井 紘一

可決された平成30年度補正予算

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	114億4486万円	1590万円	114億6076万円
国民健康保険特別会計	42億 991万円	17万円	42億1008万円
後期高齢者医療保険特別会計	3億4988万円	8万円	3億4996万円
介護保険特別会計	32億9883万円	619万円	33億 502万円
農業集落排水事業特別会計	2億7315万円	10万円	2億7325万円
公共下水道事業特別会計	7億5648万円	19万円	7億5667万円
水道事業会計	10億6756万円	36万円	10億6792万円

一般会計補正予算の主な内容

・職員給与費 **715万円**

人事院勧告に準じての職員給与補正経費

・幼稚園施設整備事業費 **185万円**

長岡幼稚園外2園の空調設備設置工事設計に要する経費

・ゆうゆう館管理運営経費 **303万円**

原油高騰による燃料単価の値上がり等に伴う経費

・町土地改良区事業費 **70万円**

野菜などの高収益な作物中心の営農への転換を推進するための水田畑地化に対する補助経費

・小学校管理経費 **152万円**

猛暑による空調設備使用の増に伴う電気使用料



空調設備完備で良好な教育環境へ

一般質問



山西 正樹 議員

問

涸沼の魅力発信について

答

周遊ルートの開発、イベントの具体策検討、新たな特産品づくりに取り組む

問

涸沼の魅力を広めるPR活動や観光に求められた方々を町内にどう誘導していくか。



アウトドアスポーツイベントの開催を

シーバス大会やトライアスロン大会など、涸沼の魅力発信と集客力が見込めるアウトドアスポーツイベントを開催してみてはどうか。

答 本町には涸沼のほかにも豊かな自然や文化、それらに育まれた食などが豊富にあることから、今後はこれらをつなぐ周遊ルート構築、さらには隣接市などへ訪れる観光客を本町へ取り込む広域的な周遊ルートの開発などを積極的に取り組んでいく。イベントの開催は町の魅力発信に有効な手段の一つであり、今後、具体策の検討を進めていく。

問 料理コンテストの開催など広くアイデアを募集し、周遊ルートの開発と一体で考える、涸沼のしじみを活用した町の特産品づくりに力を入れてはどうか。

答 今後は既存の特産品に加え、料理コンテストの開催など広くアイデアを取り入れる機会を充実させ、新たな特産品づくりに取り組んでいく。

問 消防団の充実と地域防災体制の強化を

答 体制の維持、車両の更新整備、地域との交流に努めていく

問 道路交通法改正に伴い、普通運転免許で運転できる車両は3・5t未満に引き下げられ、今後、消防団員が消防団車両を運転できないという事態が予想される。普通免許でも運転できる消防車両の導入に向け検討し、計画的に入れ替えを行うべきでは。

答 消防団車両更新計画に改正後の普通運転免許でも運転できる消防ポンプ車の整備計画を盛り込むとともに、準中型運転免許の所得助成制度の導入も視野に入れ検討していく。

問 地域防災力の向上のため、三世代交流会や敬老会など区の行事とあわせて防災訓練を行うなど、各区で防災訓練を行うことが大切であると考えるが、町の考えを伺う。

答 各地区の催事等へ消防団が積極的に参加を図り、消火訓練や応急手当等の講習を組み入れ、地域防災に寄与していけるよう努めていく。

その他の質問

問 学校給食に町内産農作物の積極的な使用と取引緩和策を

答 今後も地産池消、食育の観点から、町内産農作物をより多く使用できるように努めていく

問 外国の都市との友好都市協定締結に向けた取り組みを

答 様々なメリットが考えられることから、今後課題を整理し調査・研究していく

一般質問



小貫 昭夫 議員

問 小林町政3期12年の成果は。4期目への出馬の決意は。

答 それぞれの部門で一定の成果。次の時代に向けた町の基礎基盤づくりも大きく前進。再度町政を担わせていただきたい。

問 小林町政については、3期12年の任期が終わりを迎えようとしているが、町長の目指すまちづくりの達成度、また4期目への出馬の決意について伺う。

答 私は、今日までの12年間、希望と活力に満ちた、人の住みやすいまちづくりを標榜し、常に公平・公正を旨として各施策を推進し健全で安心感のある町政運営に努めてまいりました。

就任当初から、財政再建のための聖域なき改革を断行し、また職員の資質能力の向上に取り組み、さらには、次世代を担う子どもの人づくり教育や基幹産業である農業の振興、福祉政策の充実、環境政策を町の基本政策と位置づけ、その取り組みを行ってきました。その結果、それぞれの部門で一定の成果を得ることができ、次の時代に向けたまちづくりの根幹ともなる基礎基盤づくり、またそれを担う職員の事務遂行能力や意識づくりは大きく前進をしたのではないかと考えております。学校施設を初めとする主たる公共施設の、他に先んじた改修及び延命化対策は、町民の皆様が安心感を持って任んでいただける環境が整ってきているのではないかと考えております。

人々が豊かさを実感しながら生きがいを持って暮らすために必要な経済、文化、福祉、自然環境などの社会基盤がバランスよく整備された私の理想とするまちづくりを目指し、引き続き、子どもから高齢者まで安心して住み続けられる郷土づくりのために、熱意を持って再度町政を担わせていただきたく、4期目の出馬を決意いたしましたところであります。今後は、財政状況にも留意をしつつ、計画中の学校給食共同調理場の早期着工や文化的施設整備についても再度そ上に載せて具体的検討に入っております。

町民の皆様との協働によって、当面する困難を乗り越え、希望と活力に満ちた、たくましい郷土づくりに邁進していききたいと考えております。

問 町の実情に合った交通弱者対策を

答 平成31年度中の導入を目指し、デマンドタクシーなど協議を進めている

問 車に乗れない高齢者や運転免許を自主返納した高齢者の移動用の足として、集落の住民が自分の車を利用し、地域の高齢者の要望で自宅から買い物や病院に連れていくことができるような特区制度を設けているところがある。こうした対策も含め、町の実情に合った交通弱者対策はどういう方法がいいのか、町の考えは。



高齢者の移動用の足について町で対策を

答 交通弱者対策は大変重要な課題であり、町では、できる限り早期に新たな地域公共交通を導入しなければならないと考えている。平成31年度中の導入を目指し、デマンドタクシーなどについて協議を進めている。今後、導入した地域公共交通の効果・検証を行い、町に合ったよりよい手法について検討していきたい。

一般質問



川澄 敬子 議員

問 5歳児健診後の支援体制を強化すべき

適切な支援体制づくりに努めていく

問 5歳児健診の実施状況と今後の課題は。

答 5歳児健診は平成29年度から実施。その結果、医療機関や療育教室につながり、臨床心理士の個別相談の開始など、発達障がいのある早期発見、早期療育に効果を上げている。子どもの発達上の問題について保護者の理解を得るための対応や効率的な健診の進め方が今後の課題。保護者への事後相談機能の充実、就学への支援体制づくりに努めていく。



気づきの場として有用な5歳児健診

問 発達障がい児への支援について特別支援教育支援員の増員を。

答 発達障がい等のある児童生徒は増加傾向にある。幼稚園を含めた特別支援教育支援員の増員については、財政協議を進めながら必要な人数確保に努めていく。

問 幼児教育無償化に伴う町立幼稚園の対策は。

答 町立幼稚園は、今後も地域のコミュニティを活かし、保幼小連携教育の推進など特色ある教育をめざしていく。

問 ランドセル購入費の補助で父母負担の軽減を。

答 町では他市町村に先駆けて、教育環境整備を積極的に進め、保護者負担の軽減については全児童へのヘルメット無償配布などを実施。ランドセル購入費補助については他市町村の動向を注視していく。

問 災害から町民を守るために行き届いた対策を

答 ハザードマップの周知徹底、避難所環境の充実に努めていく

問 ハザードマップの見直しや緊急避難体制の周知について伺う。

答 土砂災害ハザードマップは、警戒区域及び特別警戒区域34地区274世帯や周辺地域に配布して注意喚起を図っている。洪水ハザードマップは改訂作業を進めており、平成31年度に対象地区の全世帯に配布予定。原子力災害住民説明会の際に、ハザードマップの説明も行い周知を図っていく。

問 避難所の環境改善について、段ボールベットの導入と行事等での展示紹介を。

答 段ボールベットは町内の段ボール製造業者からベット使用可能な段ボールシートなどを提供していただく予定。災害時備蓄品は各種イベントなどの機会に展示紹介して周知を図っていく。

その他の質問

問 プラごみゼロ宣言を出し町民への啓発を

答 検討課題としつつ、啓発活動を強化しごみの削減などに努めていく

一般質問



海老澤 忠 議員

問

緊急や重要な電話番号を一覧表にして各戸に配布を

答

関係部署と連携を図り、一覧表の作成、配布方法等を検討していく

問 茨城県では10月1日より「おとな救急電話相談」を開設した。この電話相談開設について町では、10月15日号と11月15日号の広報紙で周知したが、10月1日からの施行に対し、

1か月前の広報紙でお知らせすることはできなかったのか。また、この情報の名刺大のカードの町民への配布について伺う。

答 おとな救急電話相談の窓口では、病气やけがでの手当や適切な医療機関の助言、救急車の利用まで適切に専門家からアドバイスが受けられ、救急車や医療機関受診の適正利用に効果が見込まれている。周知の遅れについては茨城県からの依頼によつての手續きで広報紙の原稿締切日の関係によるもので、今後、関係機関と連携しスピード感を持つて啓発活動を進めていく。周知啓発用の名刺サイズカードについては、乳児家庭向けに県から配布されており、乳児家庭全戸訪問時に配布するとともに受付カウンターに備えつけ周知に努めている。

問 高齢者が多くなつてきている時代でもあり、A4判位の大ききで緊急や重要な電話番号を一覧表にして各戸に配布して、町民の利便性に応えていってはどうか。

答 緊急や重要な連絡情報は、電話番号等を表にすることにより、利用者が必要なくすぐに活用でき、有効である。関係部署と連携を図り、一覧表の作成、配布方法等を検討していく。

問

成年後見制度の利用促進へ町の推進状況は

答

各自治体や関係機関と連携し、制度の普及啓発、利用支援に努めていく

問 認知症患者の増加や家族関係の希薄化などにより、今後ますます成年後見制度の利用が必要な方は増加すると見込まれている。国は市町村に利用促進基本計画の策定など、制度の普及利用を求めているが、町の推進状況を伺う。

答 成年後見制度の利用促進については、地域包括支援センターと連携を図り、制度利用を必要とする方の支援に努めている。また県央9市町村での県央地域定住自立圏で連携し、制度の普及啓発、利用支援等についての周知を図っている。計画の策定については、県央地域成年後見支援事業の推進状況や他市町村との情報共有を図りながら、今後検討していく。

※成年後見制度

認知症や知的障がい、精神障がい、発達障がいなどによつて物事を判断する能力が十分でない人について、本人の権利を守る援助者を選ぶことで本人を法的に支援する制度。

平成31年第1回定例会 会期日程（予定）

期	月/日	曜	時刻	種 別	審 議 等 の 内 容
1	3/7	木	10時	全員協議会 本 会 議	議案一括上程、提案理由説明
2	3/8	金		休 会	議事調査
3	3/9	土		休 会	議事調査
4	3/10	日		休 会	議事調査
5	3/11	月	10時	本 会 議	一般質問 議案等の質疑、委員会付託
				委 員 会	付託案件の審査（常任委員会）
6	3/12	火	10時	委 員 会	付託案件の審査（常任委員会）
7	3/13	水	10時	委 員 会	付託案件の審査（常任委員会）
8	3/14	木	10時	委 員 会	付託案件の審査（常任委員会）
9	3/15	金	10時	委 員 会	付託案件の審査（常任委員会）
10	3/16	土		休 会	
11	3/17	日		休 会	
12	3/18	月	10時	議会運営委員会	
				全員協議会	
				本 会 議	付託案件の報告、質疑、討論、採決

傍聴ありがとうございました。

合計	女	男
34名	9名	25名

12月定例会

傍聴者数

14日	10日	12月6日
1名欠席	全員出席	全員出席

12月定例会

議員出席状況

読みやすく、わかりやすい議会だよりをめざしていきます。町民の皆様のご意見をお寄せください。

委員 長	鳥羽田 創
副委員 長	川 澄 敬
委員	鳥羽田 祐一
委員	石川 裕一
委員	入野 富男
委員	大山 宏治

広報委員会

議会を傍聴してみませんか

町政を身近に知るためにも、議会を傍聴してみたいかご検討ください。
本会議については、当日受付（役場3階議会事務局）で、住所・氏名等を記入するだけで簡単に傍聴することができます。
役場1階ロビーに設置してありますテレビでも議会中継をご覧いただけます。

お問い合わせ先 茨城町議会事務局
電話 029-292-1111(代表) 029-240-7193(直通)

いきいき茨城ゆめ国体2019

茨城県で45年ぶりに開催！

応援してね！

茨城町開催競技 ライフル射撃(CP)

競技会場

茨城県警察学校射撃場

開催期間

2019年10月4・5・6日



いばラッキー